

競 技 注 意 事 項

- 1 規 則
- ①本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
 - ②本大会では、スタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟競技規則 TR 16.7により、音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
 - ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、日本陸上競技連盟規則 TR 5.2～TR 5.6により、800m 未満の種目とフィールド種目は 20mm 以内、800m 以上の種目は 25mm 以内とする。規定外のシューズを使用しての競技参加は認めない。

- 2 練 習
- ①ウォームアップは、第2陸上競技場で行う。その時は、役員の指示に従い事故防止に努める。また、使用した器具は元の場所に返却すること。
 - ②陸上競技場の雨天走路での練習は認めない。
 - ③投てき種目の練習は、招集完了後、陸上競技場で行う。役員の指示以外による練習は、危険防止のため一切禁止する。また、第2陸上競技場での投てき練習は危険防止の為、一切、認めない。
 - ④大会参加者以外の第2陸上競技場での練習は認めない。また、集団走は禁止とする。
 - ⑤競技開始後、第2陸上競技場でのピストルの使用は禁止とする。
 - ⑥開門時刻（練習開始時刻）は第2陸上競技場が7時、陸上競技場が8時とする。

- 3 招 集
- ①招集所は陸上競技場の正面玄関前に設ける。
 - ②招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

| 種 目 | 招集開始 | 招集完了 |
|---------|------|------|
| トラック種目 | 30分前 | 20分前 |
| 走高跳・走幅跳 | 60分前 | 50分前 |
| 砲丸投・やり投 | 60分前 | 50分前 |

- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ④競技者は、招集開始時刻から完了時刻までに、競技者自らがアスリートパス、競技用シューズ、衣類、持ち物の点検を受ける。
- ⑤招集完了後、トラック競技の選手は出発係の指示に従い競技場に入場し、

現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、競技開始前に現地で点呼を受ける。

- ⑥ 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに所定の用紙を招集所に提出する。
- ⑦ 出場する種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届を招集所に提出する。

4 入退場

- ① 陸上競技場には選手および競技役員以外の入場は認めない。
- ② 陸上競技場の観客席にはメインスタンド2階中央の指定された場所から、入退場する。芝生スタンドにはメインスタンド裏の通路から行くこと。また、メインスタンドの場所取りは禁止とする。
- ③ コーチングエリアを3ヶ所、設置する。(メインスタンド・両サイドスタンド・バックスタンド)、コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。コーチングエリア内の居座りは禁止とする。
- ④ 入場は原則第3ゲート(200mスタート地点)とする。ただし次の種目に参加する選手は第1ゲート(フィニッシュ地点前方)を利用する。入場の際には必ずアスリートビブスを提示する。
 - * 400m・800m・1500m・4×400mR・Aゾーン使用フィールド種目
 - * 4×100mRに出場する選手の入退場は、1・2走者が第1ゲート
 - 3・4走者が第3ゲートとする。
- ⑤ 退場については、トラック競技出場選手はレース終了後、第1ゲートから退場する。スタート地点に戻る場合は芝生スタンドを通行する。フィールド競技出場選手は競技終了後、入場したゲートより速やかに退場する。
- ⑥ 更衣室および雨天走路内トイレの使用は女子のみとする。その際、更衣室は更衣のみに使用し正面玄関より入場する。但し、競技中の選手については雨天走路内の男子トイレの使用は認める。

5 アスリートビブス

アスリートビブスは胸と背にしわにならないようにのぼして四隅を結着し、切ったり、曲げてはいけない。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背につけるだけでもよい。また、トラック種目は腰ナンバーカードを右腰後方につける。

- #### 6 番組編成
- ① トラック競技の予選の組及び走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。
 - ② トラック競技の決勝の組及び走路順は、番組編成員が抽選し招集所に掲示する。

- ③ トラック競技の決勝の出場者を同タイム者の中から決める場合、800mまでの種目とリレー種目については、写真判定を細部まで読み取り、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定し出場者を決める。この方法により判定できない場合は、同タイムとなった該当の競技者、チームまたはその代理人によって抽選を行い、出場者を決める。

7 走高跳におけるバーのあげ方は次のとおりとする。

| | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
|-------|------|------|------|------|------|-------|
| 男子走高跳 | 1.60 | 1.65 | 1.70 | 1.75 | 1.80 | 以降3cm |
| 女子走高跳 | 1.25 | 1.30 | 1.35 | 1.40 | 1.45 | 以降3cm |

天候等により、審判長の指示で最初の高さを変更することがある。

8 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合は、トラック競技においてすべての競技者が競技を終了していない時点でも審判長が競技を打ち切ることがある。

10 リレー競技について

- ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙1部を第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出する。リレーオーダー用紙は招集所に用意する。
- ② リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用する。

11 用器具 競技に使用する用器具は競技場備えつけのものを使用する。

12 入賞及び得点

- ① 入賞は8位までとする。
- ② 対抗得点は各種目とも1位8点、2位7点、3位6点、・・・・、8位1点とする。
- ③ 各種目の合計得点により総合順位を決定する。同点の場合は上位入賞者の多い団体を上位とする。
- ④ オープン参加の選手は得点に入れない。

13 表彰

- ① 各種目の1位から3位までの競技者と、総合成績1位から3位までの団体に賞状を授与する。
- ② 総合優勝団体に、故渡辺秀雄氏楯（持回り）を授与する。
- ③ 総合成績のみ閉会式で表彰を行う。総合優勝の団体は2名、2位及び3位の団体は1名が参加すること。
- ⑤ 各種目の賞状は競技終了後、表彰室に取りに来ること。

14 抗議 日本陸上競技連盟競技規則 TR8による。

15 競技場に商品名のついた衣類・バックを持ちこむ場合について

- ① 上半身の衣類 製造会社／ロゴ：1ヶ所・40 cm²まで文字高さ5 cm以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つずつまで。
- ② 下半身の衣類 製造会社／ロゴ：1ヶ所・40 cm²まで文字高さ5 cm以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで1つまで。
- ③ バッグ・タオル（ブランケット含む）
製造会社／ロゴ：1個・最大40 cm²まで文字高さ5 cm以内
- ④ ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つずつ）
製造会社／ロゴ：1個・最大6 cm²まで文字高さ3 cm以内

16 開門・場所取りについて

① 陸上競技場

スタンド裏コンコースとトイレを開放する。男子更衣室は利用できない。（女子更衣室は女子の更衣のみ）開門時刻は8時とし、各チームの代表者2名が入場する。代表者2名は7時50分までに野球場側のスタンドへの入場スロープのチェーンの外に並ぶ。

② 第2陸上競技場

競技または、ウォーミングアップのみの利用とし、開門時刻は7時とする。出入り口は陸上競技場側の1カ所とする。またテントの設置、場所をとることは許可する。

③ その他のテント設置可能箇所

16号側緑地帯、モノレール下とする。体育館の軒下の場所取りは禁止する。

④ その他

- ・各チームの控え場所（テント設置）は1カ所限定とする。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の行為がないようにする。

17 その他

- ① 横断幕・のぼり旗等については設置しない。
- ② 携帯電話・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽再生機器等、競技場内に持ち込むことはできない。
- ③ 競技場内では雨天時以外は傘の使用は認めない。
- ④ やり投に出場する選手はスパイクを着用する。
- ⑤ 園路での集団走は厳に慎む。
- ⑥ プログラムの記載内容の訂正は早めに TIC へ届け出る。
- ⑦ セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は決められたレーンに沿って走り抜ける。
- ⑧ 控所、洗面所、競技場内外の清掃・整頓につとめる。
- ⑨ 更衣室では更衣のみを行う。貴重品等の管理は各自で行い、紛失盗難等に

は十分注意する。更衣室内の場所取りは禁止する。

- ⑩ ホームストレート側本部席からフィニッシュライン付近の、役員室前のアウトフィールド部分の通行を禁止とする。
- ⑪ ゴミは原則として各自で責任を持って持ち帰る。分別処理をして所定の場所に捨てても良い。
- ⑫ 競技中に発生した事故などについては、応急措置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- ⑬ アスリートビブスについて
一般・クラブ登録の中学生及び高校生・学連に登録していない大学生についてはアスリートビブスを配付する。但し4月の千葉県陸上競技記録会・6月の千葉県陸上競技選手権大会に出場した者は、その時に配付されたアスリートビブスを使用する。